

## 山里のお宝ササユリ群生！ わきあいあいグラウンド・ゴルフ大会

### 1 山里のお宝「ササユリ」群生地の誕生！（6月上中旬ササユリ見頃）



山里のお宝ササユリ群生

田んぼのイネも青々として元気よく育っています。

山里のお宝ササユリが、今年も元気よく可憐なピンク色の花を咲かせてくれました。

木下町の加藤さんは、ササユリの生えている場所を海苔網で囲って鹿などの獣害から守り、草刈り時にもササユリの小さな芽を刈り残して保護してみえます。その努力の甲斐あって、咲くササユリが少しずつ

増えてきて、今年は80本もの花が咲いたのです。木下ササユリ群生地の誕生です。

形埜地区では、「かたのササユリの里育成会」の活動が盛んで、南大須ササユリ群生地には約1000本近くのササユリが咲き誇ります。形埜地区全体では約3000本のササユリの開花が確認されています。

山と里(田んぼ)とのちょうど境目に当たる場所に咲くササユリは、山里のお宝植物の象徴です。額田町時代には、町の花「ササユリ」として指定されていました。昔は、どこの野山にはササユリが当たり前のように咲いていました。自分の母親が、両手一杯ほどもササユリを抱えてもってきて、花瓶に挿していた記憶があります。淡いうすピンク色の花と甘酸っぱいようないいにおいがしたのを、お袋の思い出と共に、今も覚えています。

今年も、木下の加藤さんの家の裏山(約80本)をはじめ、荻野さんの前の山(約20本)、お宮さんの駐車場と藤井さんが作っている田んぼの土手(約10本)、千万町の荻野さんちの田んぼの辺りなど、あちこちでササユリが咲いているのを確認できました。千万町・木下に見られるササユリのある田園風景が、これからも普通に見られるようになってほしいなと思います。



三つ又のササユリ



ピンク色のササユリ開花

## 2 資源回収+環境美化+地域グラウンド・ゴルフ大会



運動場草取り

6月2日(土)に、恒例の資源回収と地域グラウンド・ゴルフ大会を開催しました。ありがとうございました。資源回収の収益は、ふるさとづくり委員会の大切な収入源です。アルミ缶入れが、千万町楽校玄関横にありますので、ご活用ください。

環境美化ということで、運動場の草取り等をせっせとやったださりありがとうございました。

地域グラウンド・ゴルフ大会は、優勝・準優勝争い、3位・4位争いが、同点で大接戦の白熱した展開となりました。最後は、年齢が上の先輩からということで順位を決めさせて頂きました。上位入賞は、以下の皆様でした。

優勝(市長賞) 山本さん  
準優勝(議長賞) 荻野さん  
第3位(市教委賞) 加藤さん  
第4位 小林さん



白熱のグラウンド・ゴルフ大会

事務局の若手(?)メンバーも全力で挑戦しましたが、足元にも及ばず、宮崎朗進会の皆様に完敗の結果となりました。日頃の練習の成果が勝利につながっていると感じました。年齢に負けない「平常心・集中力・持続力」に、感心しきりでした。

## 3 環境美化活動で、ミツマタの挿し木に挑戦



ミツマタの挿し木に挑戦

今回は新しい試みとして、環境美化の一環として、ミツマタの挿し木に挑戦しました。千万町ミツマタ群生地(山主・荻野さん)に、特別にご許可頂き、剪定したミツマタの枝を、鹿沼土を入れたプランターに挿し木しました。

初めての経験ですが、うまく根づいて、芽吹いてくれたらと思います。千万町楽校の玄関付近においてありますので、ご覧ください。

また、後日、山主さんからミツマタの若木を分けてもらい、千万町楽校周辺に10本ほど植樹してみました。東河原町の平木さんと毛呂町の阿部田さんからは、フジバカマなどの苗を分けて頂き、プランターや花壇、運動場隅に植えてみました。

おすそ分けいただいた、これらの植物がうまく育って、花をつけてくれるといいです。フジバカマの開花する10月末頃には、遠く海を越えて渡りもするアサギマダラ蝶が飛来してくれるといいですね。